

型 概 要 書	型 枠 数 量	m <sup>2</sup>		コンクリート 数 量	m <sup>2</sup>
	支 柱 の 高 さ	一 般		最 高	
	工 期	組 立			
解 体					
支 保 工 の 種 類	ア. パイプサポート オ. わく組	イ. ウイングサポート カ. 木材支柱	ウ. 単管	エ. 組立鋼柱 キ. その他( )	
材 寸 質 法	せ き 板		支 柱		
	根 太		水 平 継 ぎ		
	大 引 き		根 が ら み		
はり支保工の有無 有・無 形式: スパン:					
床 の 構 造	・コンクリート ・P.C ・ハーフP.C ・デッキ ・ポイドスラブ ・その他( )				
設計荷重・許容荷重		各 部 の 構 造 ・ 組 立 及 び 補 強 内 容			別 添 図 面
支柱式支保工		1	滑動防止 根がらみ 単管( ) クランプ( )	沈下防止 ・敷角(t= mm) コンクリート上 ( )	/
(1) 垂直荷重 鉄筋コンクリート重量 KN/m × Dm ( )KN/m <sup>2</sup> 支保工・型わくの重量 ( )KN/m <sup>2</sup> 作業荷重(1.5KN/m <sup>2</sup> 以上) ( )KN/m <sup>2</sup> その他 ( )KN/m <sup>2</sup> 設計荷重 = + + + ( )KN/m <sup>2</sup>		2	滑動防止: 大引き受け金物を取り 付け固定	取付方法:	/
		3	緊結材・継手材	取付方法:	/
設計図により支保工にかかる荷重 支保工1本・1組当り ( )KN メーカー仕様書等による許容支持力 支保工1本・1組当り ( )KN ( ) < ( )・OK		4	設置方法・取付方法: 水 平 つ な ぎ	部 材:	/
		5	設置方法・取付方法: 水 平 荷 重 補 強 材	部 材:	/
(2) 水平荷重 支保工を用いる場合 T = 設計荷重 × 負担面積 × 0.05 = ( )KN/m <sup>2</sup> 補強材(単管又はチェーン)に 係る荷重 F = T / n × cos = ( )KN 許容荷重 単管又はチェーン 1本(1組)当り ( )KN ( ) < ( )・OK		6	その他 (必要に より補強)		/

(注) チェーンの場合は、クロスに2本セットで1組 3.9KN(400kg) 目安